

事業シート(令和6年度決算)

o_下水道課.xlsx_1

事業名	11100 営業費用(管きよ費、処理場費、総係費、減価償却費他)			予算	会計	17	下水道事業会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	下水道ビジョン・経営戦略、過疎地域持続的発展計画		
					款	1	下水道事業費用			ポイント					
					項	1	営業費用		分野別	政策分野	3		都市基盤・防災・景観	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 便利で強い社会基盤を整備します
					目					施策分野	(5)		上水道・下水道		
担当課	水道部	下水道課	内線	2264											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の維持向上を図る。	概要	・施設の定期的な調査・清掃・保守点検を実施し必要に応じて修繕を行う。 ・専門的知識を有する業者に排水処理施設の運転管理を委託する。 ・汚水処理に伴い発生する汚泥(産業廃棄物)を適切に処理する。 ・受益者分担金・負担金及び使用料の賦課及び徴収を適正に行う。 ・下水道接続率の向上のため、水洗便所等改造資金融資あっせん制度の周知と広報・戸別訪問等による水洗化啓発を行う。
----	-------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
生活排水処理率	94.3%	94.4%	95%
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	90.0%	89.3%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		3,209,034	3,044,410	3,183,969	3,183,969	3,117,750	73,340
特定財源	国費 (社会資本整備総合交付金 1/2)	2,500		14,000	14,000	5,610	5,610
	県費 ()						
	起債 ()						
その他財源		3,206,534	3,044,410	3,169,969	3,169,969	3,112,140	67,730
新規・拡充	主な事業内容						
	管きよ施設の維持管理	166,465	155,719	176,596	176,494	167,436	11,717
	処理施設の維持管理	958,494	829,345	892,873	892,921	867,184	37,839
	減価償却費	2,006,081	1,997,812	1,995,968	1,995,968	1,990,161	△ 7,651
	資産減耗費	50,533	33,473	55,281	55,281	40,053	6,580
	マンホールカードの製作	491	491	350	350	342	△ 149

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・下水道料金現年度分収納率 99.33% ・負担金現年度分収納率 99.70% ・分担金現年度分収納率 95.93% ・経費回収率 83.31% ・水洗化人口 73,433人 ・有収率 73.53% ・管きよ修繕 77ヶ所 ・処理施設修繕 67ヶ所 ・市広報紙による水洗化啓発の実施
評価等	・コロナ禍による下水道使用料収入の減少からの回復がみられたが、前年度同様に営業損失を計上している。 ・料金収入の確保と負担の公平性の観点から、料金滞納の未然防止に努めるとともに、適切な債権管理を行う必要がある。 ・管きよ修繕等により、有収率の向上に努める必要がある。 ・下水道事業の経営安定化を図るため、生活排水処理率のさらなる向上を目指し、引き続き下水道接続の啓発活動を行う必要がある。
次年度以降の考え方 (担当課)	・汚水の適正処理による快適な生活環境と流域の良好な水質確保のため、不明水調査や管きよ修繕等による有収率の向上に努める。 ・料金滞納の未然防止に努め、収納率向上により資金を確保する。 ・汚水処理の最新技術導入の検討等、徹底した経営の効率化を図る。 ・下水道使用料の値上を含めた営業収益の改善を検討する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・下水道料金現年度分収納率 99.36% ・負担金現年度分収納率 99.28% ・分担金現年度分収納率 100.00% ・経費回収率 81.12% ・水洗化人口 72,717人 ・有収率 71.84% ・管きよ修繕 71ヶ所 ・処理施設修繕 76ヶ所 ・市広報紙による水洗化啓発の実施
評価等	・観光需要による下水道使用料収入の微増がみられたが、前年度同様に営業損失を計上している。 ・料金収入の確保と負担の公平性の観点から、料金滞納の未然防止に努めるとともに、適切な債権管理を行う必要がある。 ・管きよ修繕等により、有収率の向上に努める必要がある。 ・下水道事業の経営安定化を図るため、生活排水処理率のさらなる向上を目指し、引き続き下水道接続の啓発活動を行う必要がある。
次年度以降の考え方 (担当課)	・汚水の適正処理による快適な生活環境と流域の良好な水質確保のため、不明水調査や管きよ修繕等による有収率の向上に努める。 ・料金滞納の未然防止に努め、収納率向上により資金を確保する。 ・汚水処理の最新技術導入の検討等、徹底した経営の効率化を図る。 ・下水道使用料の値上を含めた営業収益の改善を検討する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

o_下水道課.xlsx_1

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	3,342,384
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
3,387,350	3,342,384	3,342,384	158,415
51,000	51,000	51,000	37,000
3,336,350	3,291,384	3,291,384	121,415
査定額	説明		
198,984			
913,494			
1,953,440			
196,919			
400			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・施設管理の実施に必要な経費を計上 ・老朽化した施設の修繕に必要な経費を計上 ・処理区統合による施設の解体に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度決算)

o_下水道課.xlsx_2

事業名	12100 営業外費用(預託金、支払利子、消費税他)			予算	会計	17	下水道事業会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	下水道ビジョン・経営戦略、過疎地域持続的発展計画	
					款	1	下水道事業費用			ポイント					
					項	2	営業外費用		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 便利で強い社会基盤を整備します	
					目					施策分野	(5)	上水道・下水道			
担当課	水道部 下水道課		内線	2264											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の維持向上を図る。	概要	・下水道接続率の向上のための水洗便所等改造資金融資預託金 ・下水道施設整備に伴い起こした企業債の利息 等
----	-------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
生活排水処理率	94.3%	94.4%	95%
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	90.0%	89.3%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		289,751	280,251	256,444	256,444	249,553	△ 30,698
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	起債 ()						
その他財源		289,751	280,251	256,444	256,444	249,553	△ 30,698
新規・拡充	主な事業内容						
	水洗化資金融資預託金	6,000	1,600	6,000	6,000	1,200	△ 400
	地方債利子	244,513	240,073	216,127	211,084	209,827	△ 30,246
	消費税	37,838	37,838	32,917	37,960	37,960	122

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	-
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
218,231	221,774	221,774	△ 34,670
218,231	221,774	221,774	△ 34,670
査定額	説明		
6,000			
186,154			
28,220			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・下水道施設整備に伴い起した企業債の利子償還 ・生活排水処理率向上のための水洗化資金融資に対する預託	
評価等	・企業債の発行額を企業債元金償還金を下回るように努めていることに加え、企業債の利率が低利となっているため、利子負担は軽減されている。	
次年度以降の考え方(担当課)	引き続き、企業債の発行額を企業債元金償還金を下回るよう計画的な資金調達に努め、利子負担の軽減を図る。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・下水道施設整備に伴い起した企業債の利子償還 ・生活排水処理率向上のための水洗化資金融資に対する預託	
評価等	・企業債の発行額について企業債元金償還金を下回るように努めていることに加え、企業債の利率が低利となっているため、利子負担は軽減されている。	
次年度以降の考え方(担当課)	引き続き、企業債の発行額について企業債元金償還金を下回るよう計画的な資金調達に努め、利子負担の軽減を図る。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・企業債の計画的な新調達に必要な経費を計上 ・下水道接続率向上に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

o_下水道課.xlsx_2

事業シート(令和6年度決算)

o_下水道課.xlsx_3

事業名	21100 管きょ施設費			予算	会計	17	下水道事業会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	下水道ビジョン・経営戦略、過疎地域持続的発展計画
					款	1	資本的支出			ポイント				
					項	1	建設改良費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 便利で強い社会基盤を整備します
					目	1	管きょ施設費			施策分野	(5)	上水道・下水道		
担当課	水道部	下水道課	内線	2264										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の維持向上を図る。	概要	・老朽化した管きょ施設を計画的に更新する。 ・下水道接続の希望者に対し、下水道本管までの管きょ整備を行う。 ・下水道処理区域の再編整備を行う。 ・下水道管理システムデータ(下水道GIS)の整備を行う。
----	-------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
生活排水処理率	94.3%	94.4%	95%
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	90.0%	89.3%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6				(千円)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)	
		422,496	357,938	266,260	266,260	194,309	△ 163,629	
特定財源	国費 (社会資本整備総合交付金 1/2、農業農村整備事業補助金 1/2)	127,805	91,520	75,950	75,950	57,126	△ 34,394	
	県費 ()							
	起債 (市債)	257,000	179,700	134,400	134,400	92,400	△ 87,300	
その他財源		37,691	86,718	55,910	55,910	44,783	△ 41,935	
新規・拡充	主な事業内容							
	汚水管きょ布設、マンホール蓋取替	388,466	331,355	187,100	187,100	126,267	△ 205,088	
	下水道処理区域再編整備	29,000	22,384	19,000	19,000	15,266	△ 7,118	
○ 1	下水道管理システムデータ(下水道GIS)の整備			56,000	56,000	50,158	50,158	

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・マンホール蓋の更新整備 89箇所 ・中継施設の設備更新 12箇所 ・処理区(特環福地・農集上中・農集荒城)再編整備工事の実施
評価等	・下水道ビジョン及び下水道事業ストックマネジメント計画に基づき、マンホール蓋の更新や中継施設の設備更新を計画的に行った。 ・投資効果が高く実効性のある処理区の統合を実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	・老朽化した管きょ施設の計画的な更新をすすめる。 ・関連事業に同調した未整備地域の解消をすすめる。 ・3処理区以外の処理区統合に向け詳細な検討をおこなう。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・マンホール蓋の更新整備 88箇所 ・中継施設の設備更新 22箇所 ・処理区再編整備工事に向けた設計(農集北平)の実施 ・下水道管理システムデータ(下水道GIS)の整備(R6-R8継続費)
評価等	・下水道ビジョン及び下水道事業ストックマネジメント計画に基づき、マンホール蓋の更新や中継施設の設備更新を計画的に行った。 ・投資効果が高く実効性のある処理区の統合を実施した。 ・下水道管理システムデータ(下水道GIS)の整備のための委託契約を締結した。
次年度以降の考え方(担当課)	・老朽化した管きょ施設の計画的な更新をすすめる。 ・関連事業に同調した未整備地域の解消をすすめる。 ・他の処理区統合に向け詳細な検討をおこなう。 ・下水道管理システムデータ(下水道GIS)の整備をすすめる。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

o_下水道課.xlsx_3

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	340,080
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
352,194	340,080	340,080	73,820
107,750	107,750	107,750	31,800
150,400	141,200	141,200	6,800
94,044	91,130	91,130	35,220
査定額	説明		
185,000			
38,000			
113,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・老朽化した管きょ施設の設備更新に必要な経費を計上 ・処理区域再編整備に必要な経費を計上 ・下水道管理システムデータ(下水道GIS)の整備に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	21100 管きよ施設費	区分	☒ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	17	下水道事業会計	担当課	水道部 下水道課
			☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	1	資本的支出		
枝番・内容	1 下水道管理システムデータ(下水道GIS)の整備		☐ その他重要事業			項	1	建設改良費	内線	2268
			☐			目	1	管きよ施設費	作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・下水道管路の情報をデジタル化することにより、維持管理の効率化を図る。 ・デジタル化情報を公開することにより、市民・事業者の利便性を向上する。	概要	・GISシステムによる管路図や維持管理記録をデジタル化して一元管理することにより、業務の効率化、災害時のデータの保全、復旧の迅速化を図るほか、修繕・更新計画の策定に使用する。管路情報の一部はインターネットで公開し、来庁しなくても閲覧等が可能となる。
----	--	----	--

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点

(千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点

(千円)

予算額	当初	56,000
主な経費	・管路施設情報データ整備	
対前年度増減額(当初予算)		56,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点

(千円)

予算額	当初	56,000
	繰越	
	補正等	
	最終	56,000
決算額		50,158
対前年度増減額(決算)		50,158

R7当初予算(Action)

(千円)

予算額	当初	113,000
主な経費	・管路施設情報データ整備	
対前年度増減額(当初予算)		57,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
(R6～R8継続費) ・管路情報データ整備 ・システム初期設定	
[スケジュール]	
・R6.5～R8.10 管路情報整備 ・R8.11～R9.3 システム初期設定	

事業実績、評価等	
[事業実績]	
・管路情報データ整備 ・システム初期設定	
[評価等]	
委託業務契約を締結し、システム及びデータの整備を進めている。	
次年度以降 の考え方 (担当課)	引き継ぎ受託者と打ち合わせの上 管路情報のデータ整備を進める。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
(R6～R8継続費) ・管路情報データ整備 ・システム初期設定	
[スケジュール]	
・R6.9～R8.10 管路情報整備 ・R8.11～R9.3 システム初期設定	

事業シート(令和6年度決算)

o_下水道課.xlsx_5

事業名	21200 処理場建設費			予算	会計	17	下水道事業会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	下水道ビジョン・経営戦略、過疎地域持続的発展計画	
					款	1	資本的支出			ポイント					
					項	1	建設改良費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 便利で強い社会基盤を整備します	
					目	2	処理場建設費			施策分野	(5)	上水道・下水道			
担当課	水道部 下水道課		内線	2264											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の維持向上を図る。	概要	・宮川終末処理場の計画的な耐震化整備を実施する。 ・宮川終末処理場の老朽化した設備及び機器の計画的な更新工事を実施する。 ・特定環境保全公共下水道処理場の長寿命化計画に基づき、老朽化した施設や機器の計画的な更新工事を実施する。 ・農業集落排水施設・設備の機能診断結果に基づき、老朽化した施設や機械の計画的な更新工事を実施する。 ・排水処理施設の耐震工事を実施する。
----	-------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	90.0%	89.3%	↗
下水道処理施設数	47施設	47施設	45施設

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		300,504	119,191	199,116	241,116	180,559	61,368
特定財源	国費 (社会資本整備総合交付金 1/2、農業農村整備事業補助金 1/2)	131,354	42,072	51,550	72,050	42,963	891
	県費 ()						
	起債 (市債)	149,300	67,700	133,400	133,400	105,700	38,000
その他財源		19,850	9,419	14,166	35,666	31,896	22,477
新規・拡充	主な事業内容						
	処理場の耐震化整備						
	処理施設の長寿命化	330,800	116,430	196,100	238,100	177,934	61,504

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・公共下水道処理場の長寿命化を図るための設備更新の実施 N＝1処理場 ・特定環境保全公共下水道処理場の長寿命化を図るための設備更新の実施 N＝7処理場 ・農業集落排水処理施設の長寿命化を図るための設備更新の実施 N＝4処理区
評価等	・下水道ビジョン及び下水道事業ストックマネジメント計画の方針に基づき、計画的な設備更新を実施している。 ・施設の多くが供用開始後相当の年数が経過し老朽化が進んでいるため、予防保全による安定した処理機能の保持が重要である。
次年度以降の考え方 (担当課)	・施設や設備の重要度に合わせて、予防保全と対処保全の組み合わせにより、更新工事を実施する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・公共下水道処理場の長寿命化を図るための設備更新の実施 N＝1処理場 ・特定環境保全公共下水道処理場の長寿命化を図るための設備更新の実施 N＝7処理場 ・農業集落排水処理施設の長寿命化を図るための設備更新の実施 N＝13処理区
評価等	・下水道ビジョン及び下水道事業ストックマネジメント計画の方針に基づき、計画的な設備更新を実施している。 ・施設の多くが供用開始後相当の年数が経過し老朽化が進んでいるため、予防保全による安定した処理機能の保持が重要である。
次年度以降の考え方 (担当課)	・施設や設備の重要度に合わせて、予防保全と対処保全の組み合わせにより、更新工事を実施する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

o_下水道課.xlsx_5

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	203,681
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
303,680	203,681	203,681	4,565
118,000	78,500	78,500	26,950
138,300	112,200	112,200	△ 21,200
47,380	12,981	12,981	△ 1,185
査定額	説明		
0			
201,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・処理場施設の水処理棟の耐震化整備に必要な経費を計上 ・老朽化した処理場施設の設備更新に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・処理場施設の水処理棟の耐震化整備については予算化を見送り
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度決算)

事業名	21300 有形固定資産購入費			予算	会計	17	下水道事業会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	下水道ビジョン・経営戦略、過疎地域持続的発展計画	
					款	1	資本的支出			ポイント				
					項	1	建設改良費			政策分野	3 都市基盤・防災・景観		市長公約 強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 便利で強い社会基盤を整備します	
担当課	水道部 下水道課	内線	2264		目	3	有形固定資産購入費		分野別	施策分野 (5)	上水道・下水道			

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の維持向上を図る。	概要	・汚水の適正処理に必要なとなる機器等を整備する。
----	-------------------------------	----	--------------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	90.0%	89.3%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		200	198	630	630	550	352
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	起債 ()						
その他財源		200	198	630	630	550	352
新規・拡充	主な事業内容						
	計測装置等の整備	200	198	630	630	550	352

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	－
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)-(c)
0			△ 630
0			△ 630
査定額	説明		
0			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・水質管理用分析天秤 1台購入
評価等	・汚泥濃度の管理ができるようになり、適正な水処理が行われた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・安定した汚水処理に必要なとなる機器等の購入及び更新を図る

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・水質管理用蒸留水製造装置 1台購入
評価等	・精度の高い試験ができるようになり、適正な水処理が行われた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定 ・安定した汚水処理に必要なとなる機器等の適時購入及び更新を図る

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の方 考え方	
市長査定 の方 考え方	